

## 第二回「インターグループ委員選出のお願い」説明会議事録

日時：2022年11月20日(日) 21:00～23:00

場所：ZOOM オンライン

参加者：A.A.オンライン・ミーティングポータルサイト運営委員会\_タケン(司会)・ヒロ・pepper・あつし、今井理事(テック委員会)、ダグWSM 評議員、ほか約65名もの仲間

■序文朗読：タケン ■伝統朗読：美樹子 旭ヶ丘 BBG 宮城

■挨拶～当委員会発足から現在に至る経緯の説明：タケン

---

2020年1月～：新型コロナウイルスの感染が拡大し始め、2月、3月と瞬く間にミーティング会場の閉鎖が広がって行く中で、AAの存続に対し危機感が高まる。

---

2020年4月：会場ミーティングの代替案として、急激に増えていたオンライン・ミーティングの開催情報を取りまとめて行くサイトの必要性を感じ、数名の仲間によって原案が作られ、「A.A. オンライン・ミーティングポータルサイト運営委員会」発足。短期間でサイト公開。※当初はFC2というサービスを利用しサイトを構築。

---

2021年3月：献金受付の案内を公開。

---

2022年1月：Wordpressのミーティングガイドプラグインを使ったサイトへリニューアル。※委員会発足当初から、AAメンバーの中で世界的に利用されている「ミーティングガイドアプリ」を日本でも広めて行こうという構想を持ち、連携可能な形でサイトを構築したが、現在は諸事情により連携停止中。

---

2022年3月：Squareというクレジットカード決済サービスを使ったオンライン献金が可能に。

---

2022年9月：「AA日本オンライン・インターグループオフィス開設にあたり」採択。※「AA日本オンライン・インターグループオフィス 説明会資料」P4に全文記載。

---

2022年10月：「インターグループ委員選出のお願い」告知開始。

---

2022年11月：説明会開催。(2回)

---

2022年12月：登録フォーム締め切り予定。

---

2023年1月：第一回AA日本オンライン・インターグループオフィス インターグループ委員準備集会開催予定。※第一回説明会后、仲間からのご意見を踏まえ、インターグループ設立に関して、集会参加者へ承認を求め、承認後設立させる事になった。

---

委員会発足当初からは運営メンバーが徐々に増え、毎月一度のビジネスミーティング、サイトの改修を繰り返してきた。現在129のオンライン・ミーティング情報が掲載され、ある程度の形が作れたと考えている。今後は、各グループへ運営のバトンを渡し、新しいサービスとして担っていただくのが健全な形であると考えている。

■インターグループとは：ヒロ

※「AA 日本オンライン・インターグループオフィス 説明会資料」P1～4 の説明

※特に P3「AA の三つのレガシイ = 三角形」(AA 日本ユーズレター No.194 P4 出典) (第一回説明会後に追加) を使い、セントラルオフィス・インターグループオフィスが AA 全体の中でどういった位置にあるのか説明を行った。

- ・ インターグループオフィス・セントラルオフィスはローカルサービスに該当するサービス機構で、常任理事会、JSO などはゼネラルサービスに該当し、明確に分かれている。
- ・ ローカルサービスは個人の回復を目指した 12 のステップ活動や、グループ活動が中心に行われ、グループの良心を代議員によってゼネラルサービスへ運ぶ。
- ・ ローカルサービスの決定に、ゼネラルサービスは関与しないが、お互い協力関係にある。

※説明資料では、AA 日本オンライン・インターグループオフィス (JOI) を令和 5 年 1 月 1 日に開設するとなっているが、グループの承認後設立させる事になったため、今現在は日付未定。

※「第一回インターグループ委員準備集会」の開催日時は下記を予定。

日時：令和 5 年 1 月 9 日(月・祝) 10:00～12:00 場所：Zoom 詳細は近日中に配信予定。

■オンライン・グループの考え方、応募資格、今後やって行く事：pepper

※「AA 日本オンライン・インターグループオフィス 説明会資料」P5～8 の説明

■経験の分かち合い：ダグ WSM 評議員

まず自己紹介から始めさせていただきます。

私は、2007 年から湘南 G に所属しています。役割としては、AA 日本常任理事会 WSM 評議員の後期評議員として活動をさせていただいております。

ゼネラルサービスでは 1995 年に代議員を、その後、地区、地域のサービスをさせていただきました。2003 年、2004 年には北カリフォルニアの評議員をさせていただきました。

ローカルサービスでは、1995 年以前に、カリフォルニア サンロゼでインターグループ委員を、2009 年、2010 年には運営委員会(実際には法人理事会に相当する)の委員長をさせていただきました。

有志から始まった皆さんが、インターグループを作るまで持ってきてくれた事に感謝します。メッセージを運びたいという熱意からサービスは生まれます。今回、皆さんに集まっていたのは、AA が成長して行く自然な形であり、非常に健康的な事だと思っています。

先ほどヒロさんから説明がありましたが、「インターグループ」と「セントラルオフィス」はゼネラルサービスとは別の組織になります。別の組織といっても相反するわけではなく協力関係にあります。「インターグループ」と「セントラルオフィス」はローカルサービスの中で、1 つのグループでは出来ない事を担うために、必要性を感じて設立されるものです。ゼネラルサービスの許可を受ける必要はありません。

※伝統 9 : AA そのものは決して組織化されるべきではない。だがグループやメンバーに対して直接責任を担うサービス機関や委員会を設けることが出来る。「アルコールクス・アノニマス P259」

北米では「インターグループ」と「セントラルオフィス」という名称がごっちゃに使われていて、明確に区別されていません。日本ではセントラルオフィスが7つあり、担当領域が地域と同じになっているため、北米とは状況が違い、皆さんがインターグループとセントラルオフィスとの違いに関して混乱することは十分理解できます。

本来であれば、インターグループやセントラルオフィスはもっと小ぢんまりしたものが沢山存在していても良いものなのです。日本では現在約600のグループが活動しているので、10~20のインターグループがあっても良い規模だと思っています。ニーズがあって、担い手がいれば立ち上げて良いのです。

北米には既にオンライン・ミーティングのインターグループオフィスがあります。(OIAA)物理的なオフィス(事務所)は設けていません。

また、北米では毎月インターグループ委員会を開催していました。主な目的としては、方針を決めたり、運営委員を選出することです。運営委員会は別途開催していました。他のインターグループや、ゼネラルサービスとも積極的に連携をとっていましたが、抱えている問題は一緒な場合が多く、伝統に沿って協力関係を築くことがとても大事です。

今回のインターグループ化は日本のCOで出来ないことを担って行こうという活動になると思いますが、COをつぶす訳では無く、COとは協力関係を築きながらAAをより良いものにして行くという事がとても大切です。

どんなサービスでも一番大事なのはグループの声という事です。現状、常任理事会、評議会レベルで私たちが気にしているのは、十分にグループの声が聞こえているか?という点です。伝統2がとても重要で、私たちグループの中に私たちを愛してくれているハイヤーパワーが、ハイヤーパワーの意思を伝えてくださるという事です。

#### ■質疑応答

Q: 規則が多い印象を受けた。

A: すべて規則ではなく、ガイドライン(参考例)としてご用意している。インターグループ発足後は、皆さんで話し合っ決めて行けば良い。

Q: 伝統9: 組織化されない…本件が問題ないのか、英語の解釈を聞きたい。

A: 「だがグループやメンバーに対して直接責任を担うサービス機関や委員会を設けることが出来る。」と書かれており、全く問題ない。とても健康的な活動である。

Q: オフィスをたくさん作っても良いと言われていたが、財政的に厳しい場合がある。

日本はトップダウンでCOを作ったため、実情にそぐわず成り立っていないCOがある。

A: すべてのサービスは私たちに責任がある。

設立当初はトップダウンだったかもしれないが、継続させて行くかどうか決めて行くことは出来る。

財政的に成り立っていなければ、別な方法に変えることは自由。

インターグループ化を目指すこの活動は、もともとトップダウンで発生したものでは無い。また、設立前に皆さんに集まっていただき、皆さんの良心でご判断いただきたいと思います。

オフィスという名前はついていますが、事務所を借りる等考えているわけではない。そういった事も財政面含めて皆で決めて行けば良い。

第一の目的は、苦しんでいる仲間が助けを求めるための窓口があるかどうか。

北米では、全国の無料ダイヤルでアルコールリックが繋がるためのシステムを作るなど行った。また、世界にはいろんな前例がある。北米だけでなく、日本に役立つ前例を参考にしたり、独自のアイデアを試すなど自由である。

Q：委員会発足後、評決する際には、多数決、第3レガシー手続き、こういった方法を採用するのか。

A：内容によって分けて行くと思うが、発足後のメンバーで話し合っただけで決めていただくため、今現在は未定である。

Q：LINEでミーティングを開催している場合は参加資格がないのか

A：LINEでも問題ない。ツールはなんでも良い。

※サイトの機能として、ミーティング/Join欄に、Zoom、Jitsi Meet、Skypeの3種しかリンクが貼れない。(Temporarily Inactiveと表示されてしまう。)といった事はある。

Q：オンライングループ名、有志、それぞれ名乗っている場合があるが、条件を教えてください。

A：運営しているメンバーの良心で決めていただければ良い。

今までは、既にグループ(リアル)に所属しているメンバーが、別の活動としてミーティングを開催する場合有志と名乗っている場合が多かったと思うが、改めて話し合っただけで判断いただければ良い。

Q：インターグループに参加するには、グループで無ければダメなのか？

A：インターグループ委員はグループから選出していただくとしている。

有志で開催している場合は、オブザーバーとして参加いただくことは歓迎する。

Q：ミーティングのフォーマット、参考資料等、必要な資料を用意する考えはあるのか？

また、Zoomのアカウント貸し出し等、考えている事はあるのか？

A：発足後のメンバーで話し合っただけで決めていただければ良い。

そういった知見を反映させることは大事だと思うので、ぜひごインターグループ委員としてご参加いただきたい。

Q：それぞれ違う対面グループに所属しているメンバーが集まってオンライン・グループを立ち上げた場合、オンライン・グループとして名乗って良いのか。また、対面グループと、オンライン・グループ両方名乗っても良いのか。

A：特に問題ないとしている。両方名乗るかどうかは、本人の良心で判断すれば良い。

Q：インターグループ委員選出の条件として、1人1枠の意味というところを説明して欲しい。

A：インターグループ委員は1人1票になるようにしたい。複数グループに所属している場合はその中の1つを選んでいただき、1枠からのみ選出いただきたい。

Q：評議員選出に関われないという事は、グループの良心をゼネラルサービスに反映させるという考えは無いという事で良いか？

A：ゼネラルサービスにおける議決権は現状ない。地区、地域をベースにしたサービス体系に、オンラインを融合するには、検討すべき点が多く直ぐには実現できない。但し、評議会では検討段階に入っていると。今は過渡期。

議決権は無いが、評議会に議題提案、ディスカッションで良心を伝えることは今現在も可能。

[ゼネラルサービスとの関わり方に関して]：今井理事

第27回評議会では、オンライン・グループの声をどうやってゼネラルサービスへ届けてもらえば良いか、話し合いがされた。

オンライングループは、地区、地域を跨ぐため、どのように扱えば良いか？議決権の在り方をどうしようか？など、解決しなければならない課題が沢山ある。

常任理事会はオンライン・グループがゼネラルサービス機構に参加できる仕組みを検討する委員会を発足させる事に対し、勧告決議された。

[オンライン・グループの登録受付について]

第27回評議会報告書56～58ページ

「オンラインでのみ開催しているミーティングを行うグループ登録を受け付ける。」に対し勧告決議された。

JSOは評議会終了後から、登録を実施している。

Q：委員選出の呼びかけは、日本国内のみか？

A：日本語で開催していることを前提としており、運営母体がどの国にあっても構わない。

現在は、AA日本オンライン・ミーティングに掲出中のグループに対し告知をした。

今後に関しては、発足後のメンバーで話し合っ決めていただければ良い。

Q：メンバーが少なく委員が選出出来ないが、手伝いたい気持ちはある。

委員でなくとも手伝えることは有るのか？

A：役割に関しても、発足後のメンバーで話し合っ決めていただければ良い。

※テクニカルサポート等は委員外含めて探す必要があるかもしれないと話していた。

Q：ソーバーどのくらいから応募できるのか

A：特に規定はない。

個人的な意見として(司会者)：ある程度ソブラエティが安定してからの方が良いと思う。

Q：あるグループから入室禁止措置を通達された。委員選出に影響するか？（資格がなくなるという事は無いかな？）

A：オンライン・グループに所属していて、そのグループから選出いただくための障害にはならない。

Q：2名以上で無いと駄目か？

今まで一人で運営してきたが、もう一人運営メンバーを迎え入れればグループとして認められるのか？

A：一人の運営ではグループとして認められないとしております。二人以上の運営であればグループと名乗ってよいとしている。

Q：他のアディクションを持っている、元々お酒が飲めないという仲間も参加資格は有るのか？

また、インターグループにAAと入っていないが、AAなのか？

A：本件はAAのオンライン・ミーティングのインターグループ。飲酒をやめたいと願っていて、AAメンバーを名乗っていれば参加資格がある。

クロスアディクション等でも問題ない。

Q：オンライン・ミーティングの参加者は住んでいる場所に関係なく参加されると思うが、そういった仲間を対面のミーティング会場へ繋ぐなどのネットワークを構築する構想は持っているのか。

A：発足後のメンバーで話し合っていて決めていただければ良い。

今までは、対面ミーティングが必要な仲間がいれば、調べてご案内する等対応をしてきた。

繋がった仲間に、最良の方法を促して行けたら良いと思う。

各COと、そういった深い協力関係は出来ていない。(COへオンライン・ミーティングの問い合わせが来たらサイトのURLをご案内いただいたり、各COのホームページへリンク掲出いただくなど、簡単な連携は出来ている。) 今後はもっと深い関係性の構築を目指していただくことは良いことだと思う。

## ■閉会の挨拶・私の責任朗読：タケン

### 私の責任

誰かが、どこかで助けを求めたら

必ずそこにAAの(愛の)手が

あるようにしたい。それは私の責任だ。

### 「第一回インターグループ委員準備集会」

※設立前での開催になるため名称変更。

日時：令和5年1月9日(月・祝) 10:00～12:00

場所：Zoom

詳細は近日中に配信。

※第一回「インターグループ委員選出のお願い」説明会議事録を合わせてご確認ください。